



中期経営計画ローリング

2015年3月期～ 2017年3月期

(2014年3月期 決算補足説明資料より抜粋)

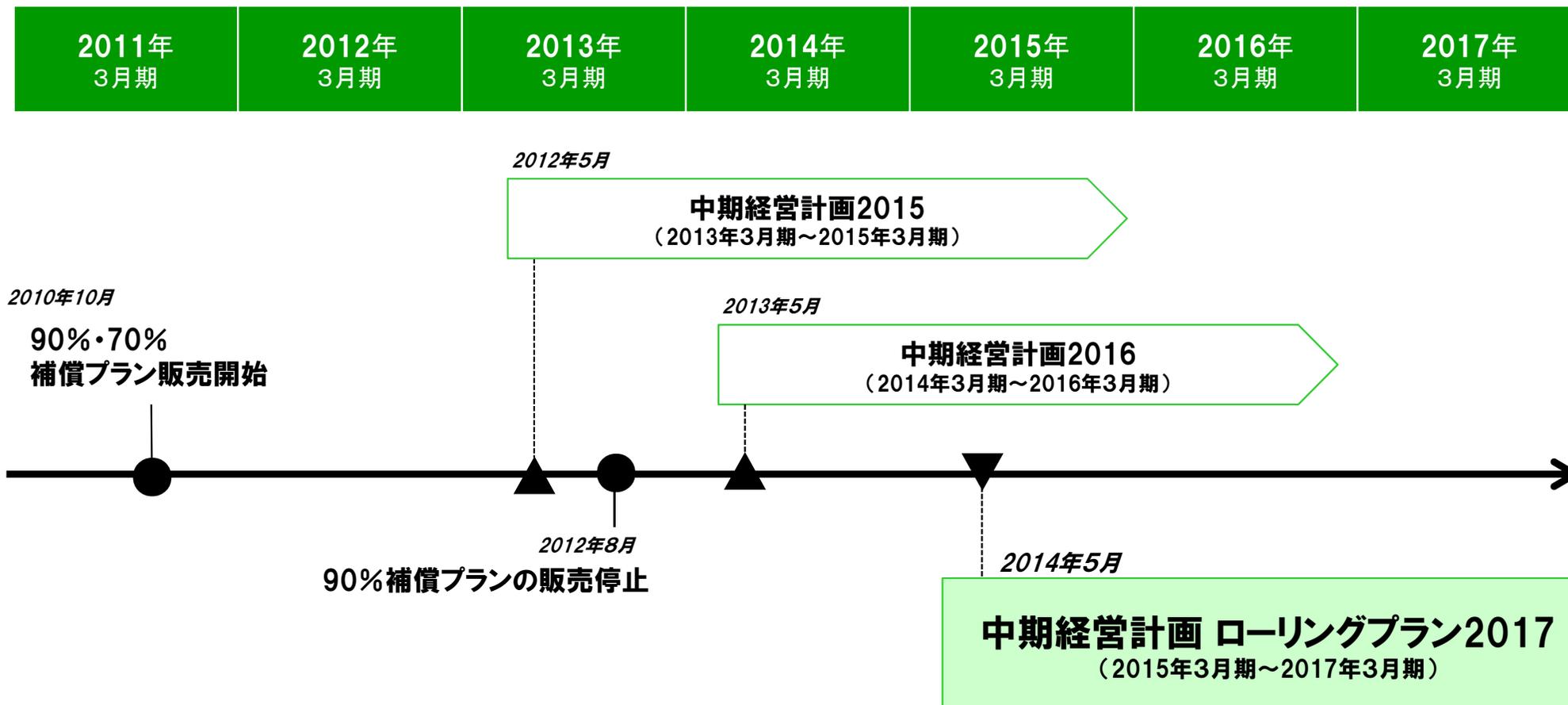
2014年5月8日

アニコム ホールディングス株式会社

(証券コード:8715)

1. 中期経営計画ローリングについて

- 中期経営計画は、3カ年の環境変化等を想定して策定するものですが、環境の変化に機敏に対応すべく、毎年のローリング(中期経営計画の再策定)を実施します。なお、年度でのローリング実施を基本としておりますが、大きな環境変化が認識される場合には、期中でのローリングを実施することとしております。
- 今年度は、2015年3月期～2017年3月期に係る「中期経営計画ローリングプラン2017」を策定いたしました。

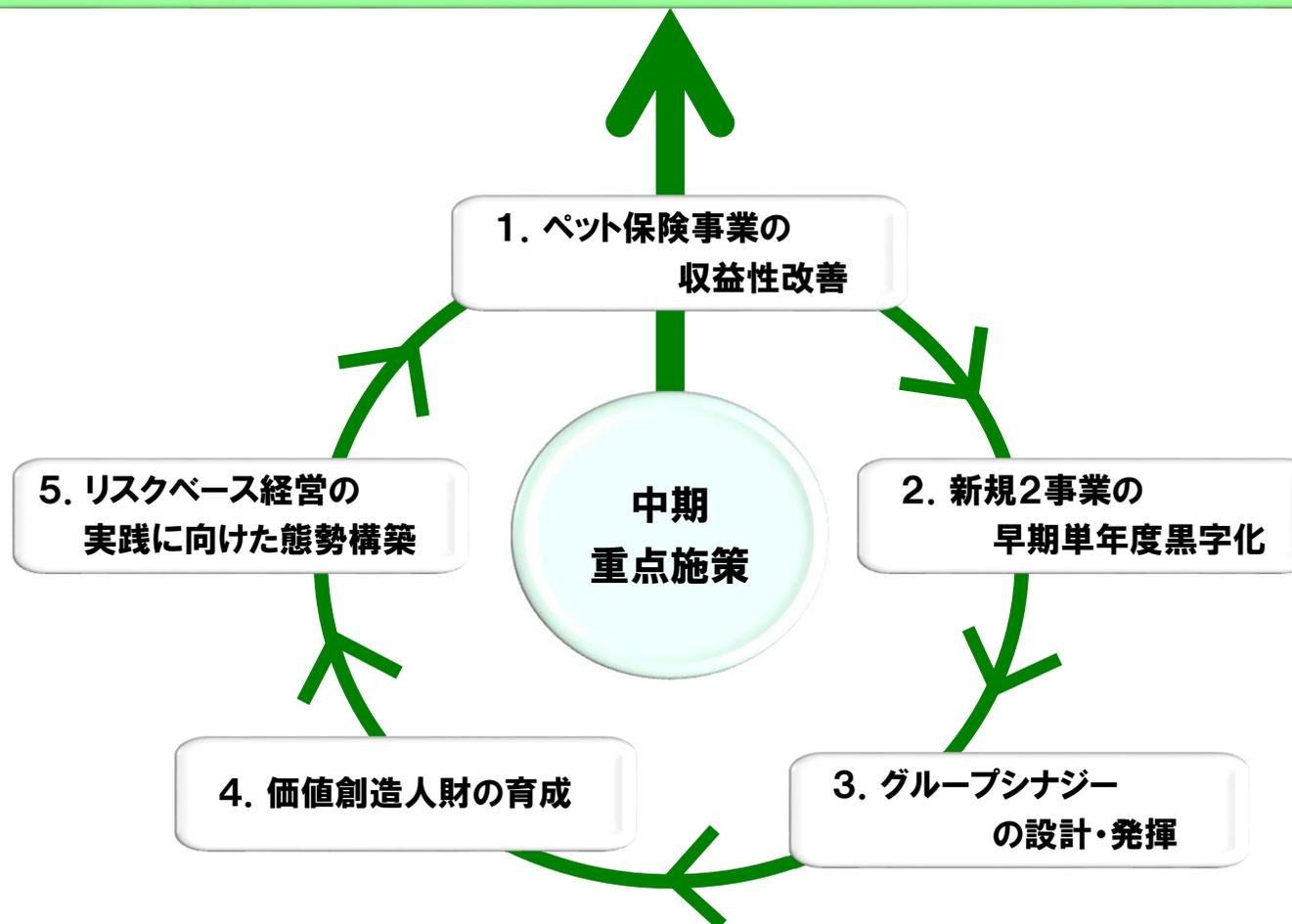


2. 中期経営VISIONについて

- 当社グループの持続的な成長に向け、「多様な事業体を創出するグループ・インキュベーション力の発揮」を中期経営VISIONとして掲げております。
- 中期経営VISIONを踏まえた施策として、「ペット保険の収益性改善」を軸に、事業の多角化を推進すべく平成26年3月期に立ち上げたアニレセF事業、日本どうぶつ先進医療研究所事業の「新規2事業の早期単年度黒字化」、さらにこれまでグループに蓄積された知見を活用した「グループシナジー発揮」とそれを加速させるための「価値創造人材の育成」、そしてこれらグループの成長を促すためにリスクと資本にフォーカスした経営判断を行うべく「リスクベース経営の実践に向けた態勢構築」を進めてまいります。

中期経営
VISION

多様な事業体を創出するグループ・インキュベーション力の発揮



3. 外部環境/内部環境分析

□ 当社グループが保険業としてペット保険事業を開始してから丸6年が経過し、これまで堅調に市場を拡大しております。今後も市場成長を阻害するような大きな環境の変化は想定しておりませんが、現時点において、グループを取り巻く外部環境及び内部環境を以下のとおり認識しております。

外部環境

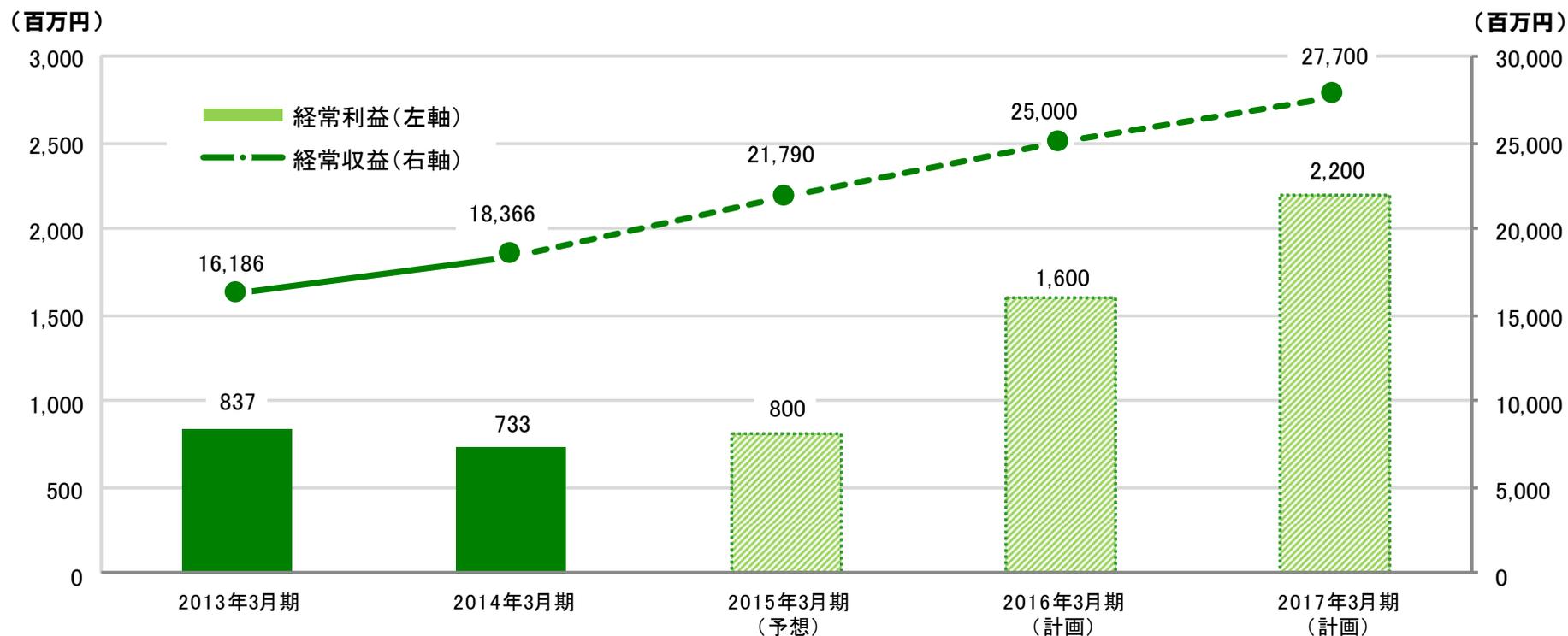
- ・ペット関連市場は、今後も「室内飼育化」「小型犬化」「高齢化」「肥満化」に対応する商品、サービスにより、ペットとの共生やペットの健康に関する市場は緩やかに拡大するものと想定する
- ・生体の販売頭数は横ばい、もしくは微減傾向で推移すると想定するが、ミクロ的にはペットショップの販売力や立地に依存する。有力ペットショップはさらに拡大傾向にある
- ・競合環境として、当社グループ以外の保険会社は3社。少額短期保険会社は7社。損保1社の新規参入があったものの、競争環境の大きな変化は想定しない

内部環境

- ・損害率コントロール施策の展開により損害率は改善傾向に転じてはいるものの、さらなるコントロール施策を要すると認識。2014年には保険料の改定を実施
- ・主力募集チャネルであるペットショップ代理店を中心に、新規代理店の開拓や付保率向上のための営業を強化。2014年には東北支店を開設し、東北地方の営業を強化
- ・新規事業として2013年度に立ち上げた動物病院向けクラウド型カルテ管理システム「アニレセF」、日本どうぶつ先進医療研究所(株)の2事業にリソースを投入し、ペット保険で得た知見を横展開

○ 損害率改善による収益性の向上、積極的な営業施策実行によりペット保険事業を一層強化するとともに、どうぶつ医療を軸にした新規事業を展開することで多角化を図り、持続的な成長基盤を構築する

4. 中期経営計画ローリング2017 経常収益・経常利益



(百万円)

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期 (予想)	2016年3月期 (計画)	2017年3月期 (計画)
経常収益(ローリング'案)	16,186	18,366	21,790	25,000	27,700
経常収益(中期経営計画2016. 前回)	-	18,136	20,218	22,570	-
経常利益(ローリング'案)	837	733	800	1,600	2,200
経常利益(中期経営計画2016. 前回)	-	1,010	1,714	2,468	-
E/I損害率(ローリング'案)	67.5%	66.7%	67.3%	65.5%	64.6%

【APPENDIX 1-①】英国・北米・日本のペット保険市場規模の推移

□ ペット保険先進国の英国や2000年代から普及が本格化した北米をはじめ世界的にペット保険の認知度は向上しており、ペット保険市場は今後も成長を続けるものと想定しております。
日本においてもペット保険市場に成長阻害要因は予見されず、順調に拡大すると見込んでおります。

英国市場は2010年以降4年間、対前年比9%成長を予測

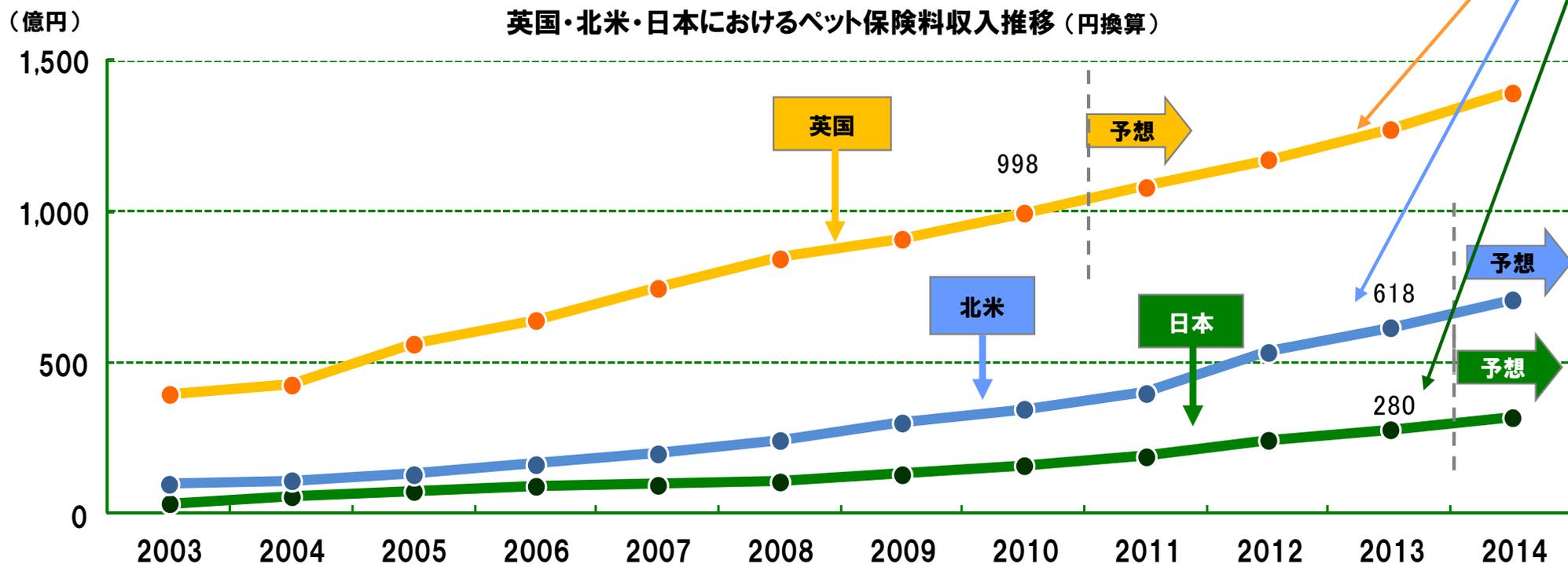
(Datamonitor社『UKPetinsurance2011』)

北米市場は2018年に962百万ドル(今後5年で55%程度の成長)と予測

(Packaged Facts社『Pet Insurance in North America,5th Edition』)

日本市場は2013年度以降2年間、対前年比10%程度の成長を予測

(㈱富士経済『2013年ペット関連市場マーケティング総覧』)



出典： 英国市場 :Datamonitor社『UKPetinsurance2011』・1 £ = 170円換算で算出
北米市場 :Packaged Facts社『Pet Insurance in North America,5th Edition』・1 \$ = 100円換算で算出
日本市場 :㈱富士経済『2013年ペット関連市場マーケティング総覧』

【APPENDIX 1-②】日本のペット保険市場の潜在規模(推定)

- 英国のペット保険加入率は約25%、一方日本は約3.9%と推定されます。
日本が英国と同等の加入率に成長すると仮定すると、市場規模は約1,600億円超と試算されます。

国	人口 (世界銀行2011年度)	ペット(犬・猫) 飼育頭数	1人当たり 飼育頭数	ペット保険 加入率	市場規模	1契約単価
英国	6,274万人	1,520万頭	4.1人に1頭	約25.0%	約1,000億円	約26千円
北米	34,607万人	18,500万頭	1.9人に1頭	約1%超	約620億円	約31千円
日本	12,781万人	2,061万頭	6.2人に1頭	約3.9%	約280億円	約35千円

日本の
潜在市場規模

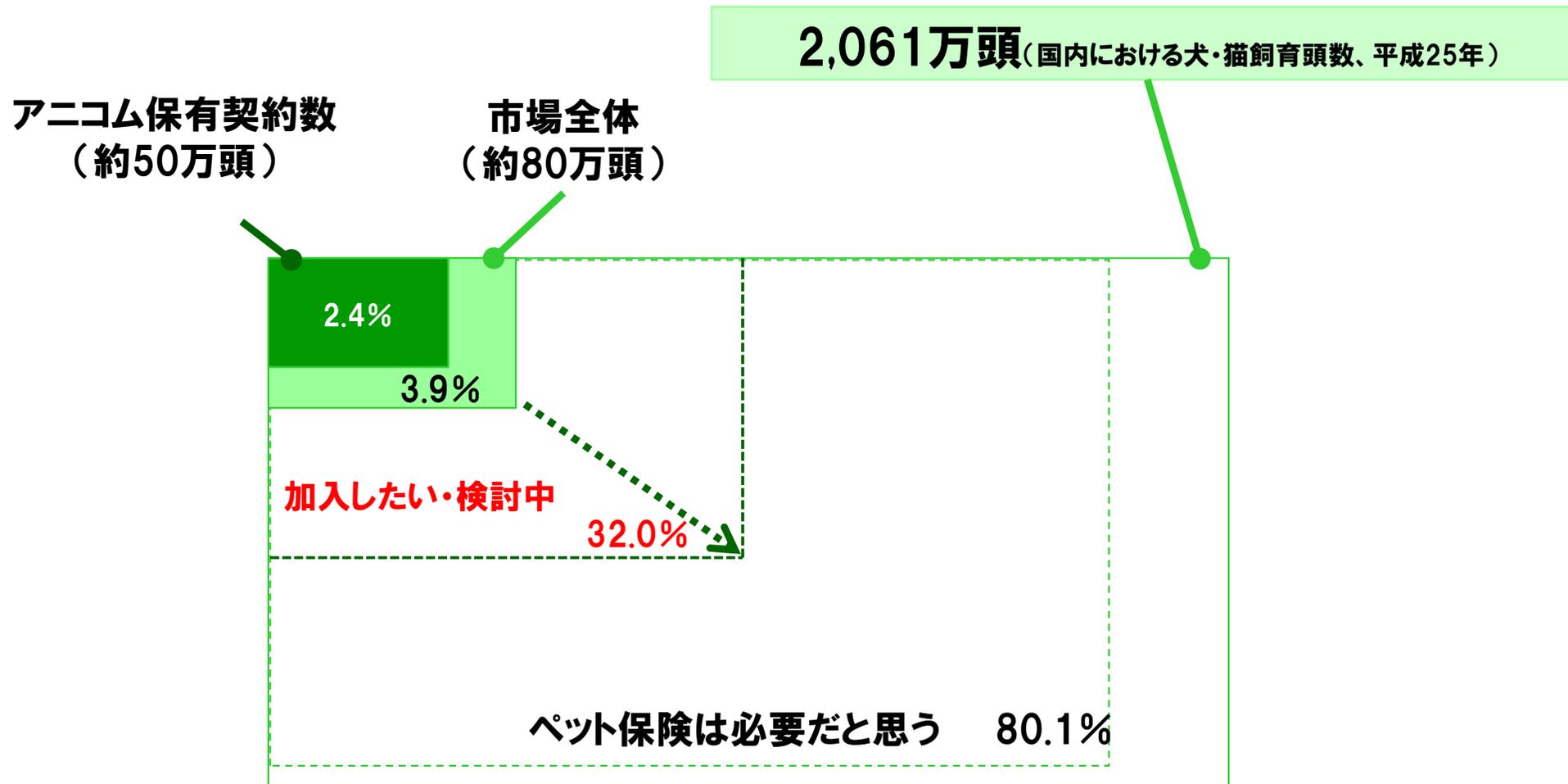


約1,600億円超

出典：前頁と同様
英国は2009年度データ、
北米、日本は2013年度データ
を元に算出

【APPENDIX 1-③】ペット保険市場拡大の可能性

□ 国内の犬・猫飼育頭数2,061万頭のうち、当社グループのペット保険保有契約数は約50万頭(約2.4%)にとどまっております。飼い主の「ペット保険は必要である」との認識は高いことから、ニーズは拡大傾向で推移するものと想定しております。

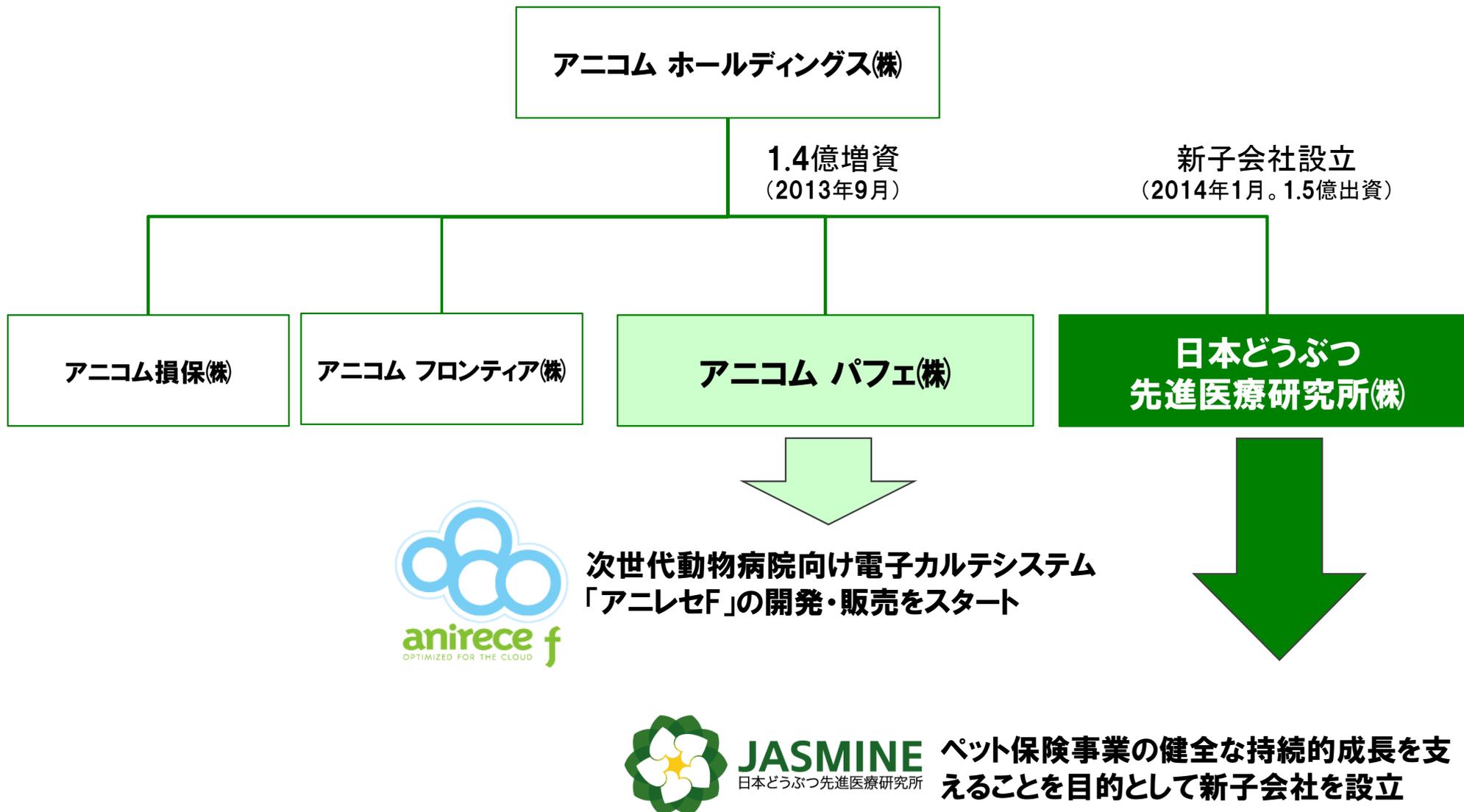


国内飼育頭数2,061万頭:平成25年ペットフード協会調べ
ペット保険契約数(市場全体)約80万契約:各社シェア等から当社試算
ペット保険の加入意向:ペット総研調べから当社試算

【APPENDIX 2-①】事業多角化への取り組み

□ グループ事業の多角化、更なる事業シナジーの発揮のため、子会社において以下の取り組みを行っております。

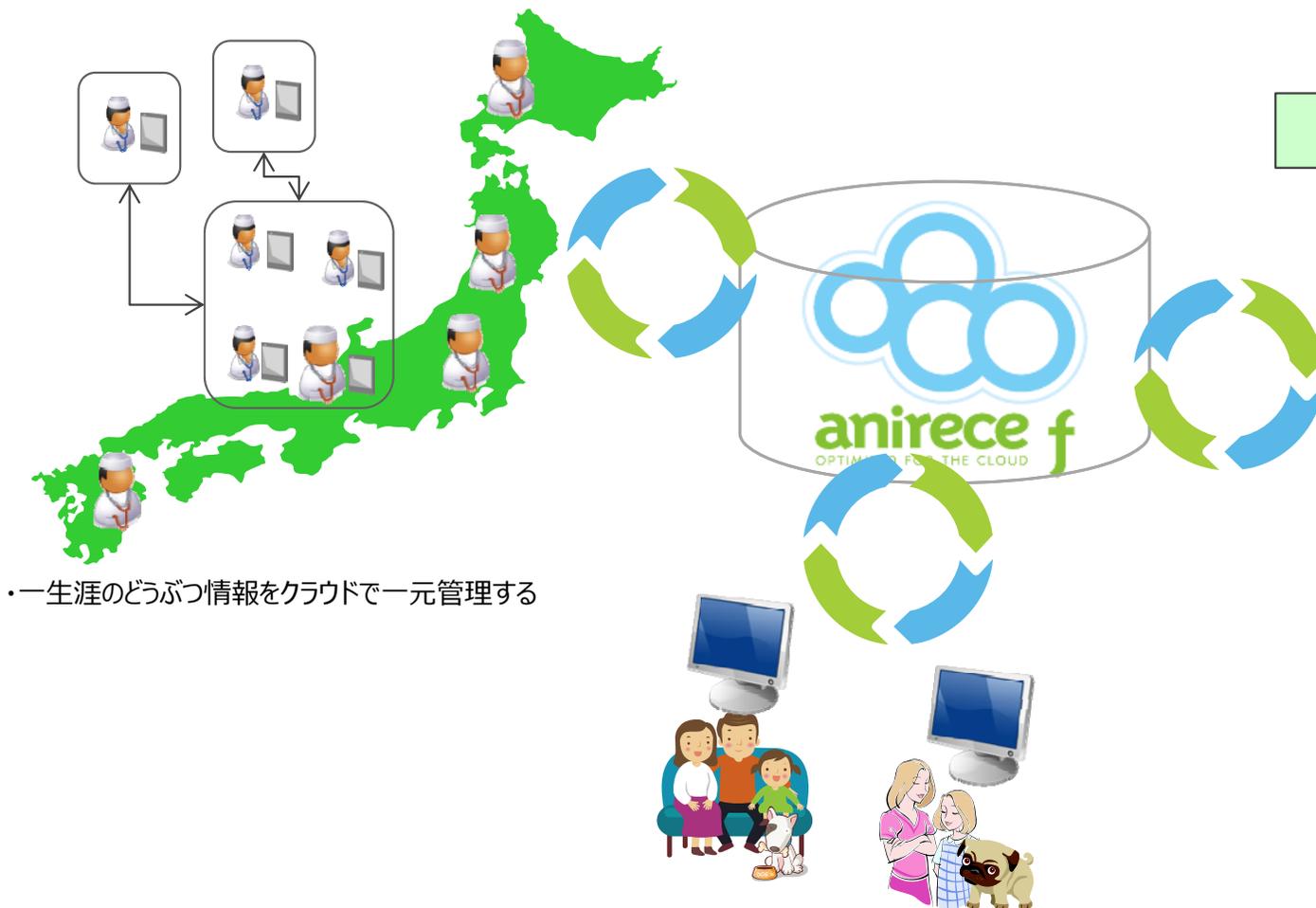
- ・アニコム パフェ(株)において、業界初となるクラウド版電子カルテシステムの開発・販売を開始
- ・ペット保険事業の健全かつ持続的成長を支えるべく、新子会社を設立。



【APPENDIX 2-②】クラウド型 動物医療カルテ管理システムの展開

- アニコム パフェ(株)の次世代主力商品として、富士通社との共同開発商品「アニレセF」を市場投入いたしました。
- 全国の動物病院をクラウド環境でつなぎ、獣医療の標準化への貢献、飼い主へのカルテ公開、ビッグデータの活用等、新たな付加価値をマーケットに提供します。

全国の動物病院をクラウド・ネットワーキング



• 一生涯のどうぶつ情報をクラウドで一元管理する

ビッグデータの活用



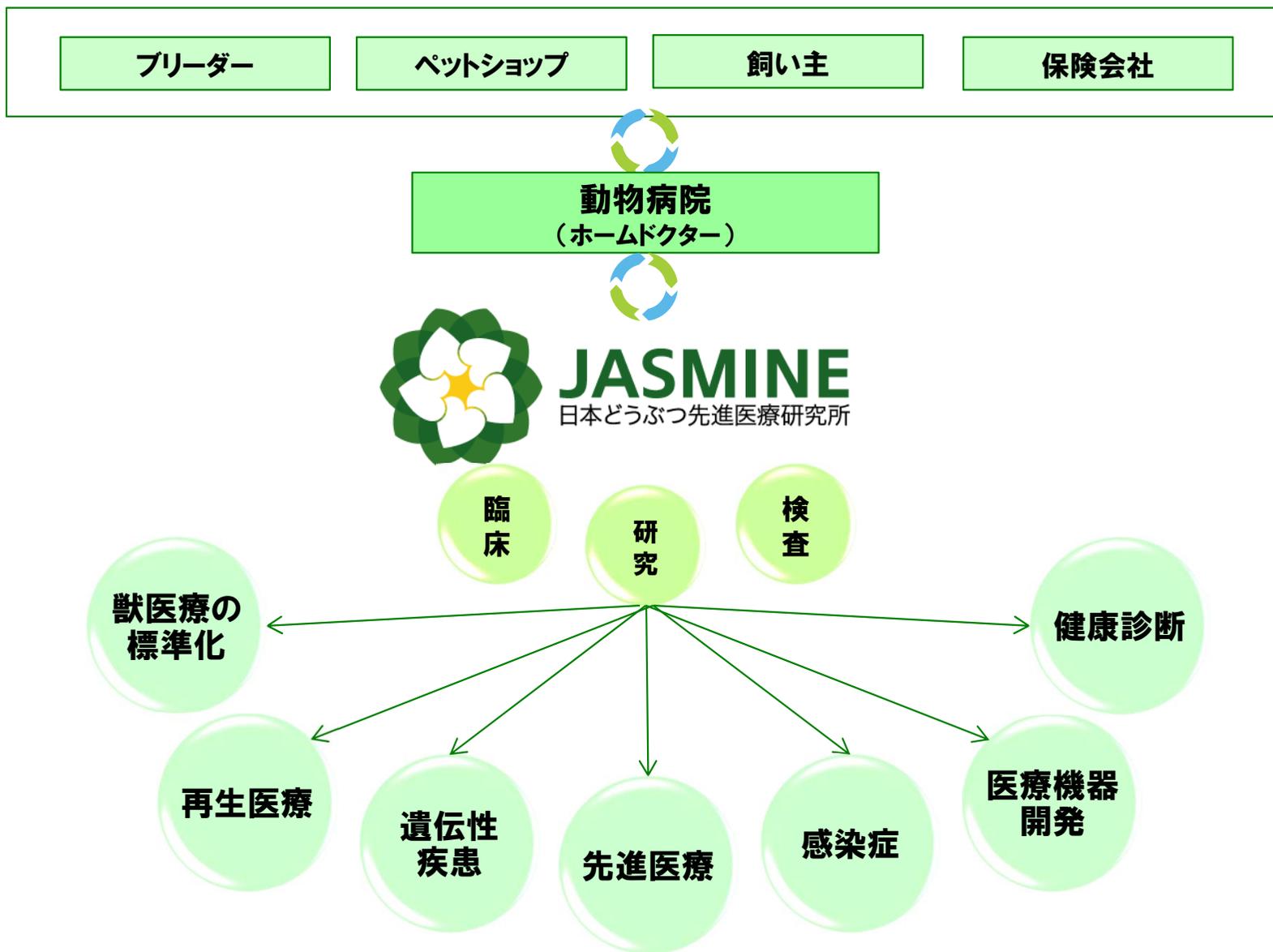
- 統計情報公開に同意頂いた病院データから、各種疾患統計/経営情報等を分析/活用する

飼い主へのカルテ公開

- 獣医師が動物病院で記録したカルテを飼い主が自宅で閲覧可能にする（カルテのオープン化）

【APPENDIX 2-③】動物向け先進医療事業への取り組み

- ・ 当社グループの中核事業であるペット保険の健全な持続的成長を支えること、及びどうぶつ医療からヒト医療への貢献を目的として、『日本どうぶつ先進医療研究所株式会社[Japan Animal Specialty Medical Institute Inc.(JASMINE)]』を設立いたしました。
- ・ 2014年4月から事業を開始。業容を拡大しつつ3年以内の黒字化を達成し、以降の利益貢献を目指します。



本資料に関する注意事項

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載しております。

これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。従いまして、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。

なお、本資料は情報提供のみを目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資の勧誘・募集を目的としたものではありません。

お問合せ先

アニコム ホールディングス株式会社 経営企画部

東京都新宿区下落合1-5-22 アリミノビル 2F

URL：<http://www.anicom.co.jp/>

